

9月に入りまだまだ暑い日が続いていますが、湿原は秋色に染まり始めています。幌延ビジターセンターとパンケ沼園地の両方で、ミヤマアキノキリンソウ(別名 コガネギク)が湿原を黄色く彩っています。サロベツ湿原も最後の盛り上がりへと向かっています。だんだんと茶色く色づいていく湿原にご注目です。

* 令和2年9月9日取材時の状況 *

場所はコチラ！

(*マーク付近にミヤマアキノキリンソウが咲いていました)

今週の1枚



湿原を彩るミヤマアキノキリンソウ(幌延ビジターセンター)



幌延ビジターセンター 撮影



ホロムイリンドウ
(リンドウ科)



ハンゴウソウ
(キク科)



ミズゴケ
サロベツ湿原の陰の主役！
たっぷりの水分が含まれており、
絨毯のようにふかふかしています。

パンケ沼園地 撮影



ヤマハハコ
(キク科)



ナガボノシロワレモコウ
(バラ科)

開花情報

- *ウメバチソウ
- *ガマ(穂綿)
- *フトイ
- *モウセンゴケ
- *エゾゴマナ
- *エゾナミキソウ
- *クサフジ

※見れる花が少なくな
ってきています！

お知らせ



町ホームページで
バックナンバーを
掲載中！